

平成 25 年度企業庁事業決算見込みの概要について

平成 26 年 8 月 11 日
 千葉県企業庁管理・工業用水部財務課
 電話 043-296-8483

1 造成土地整理事業会計及び土地造成整備事業会計

企業庁では、「企業庁造成土地整理事業及び土地造成整備事業の清算取組方針」(平成 25 年度～27 年度)に基づき、保有土地の分譲を進めるとともに、債権・債務等の整理を推進してまいりました。また、千葉ニュータウン事業については、平成 26 年 3 月に新住宅市街地開発事業の完了を図ることができました。

この結果、平成 25 年度の決算は、

- 収益的収支は、土地分譲収入が 33 億円増加し、リーマンショック後では最高となる 199 億円となったものの、中止工業団地の売却等により土地売却原価が倍増したことなどから 152 億円の赤字となりました。
- 資本的収支は、公共施設を市町村に引き継ぐため整備を推進したことなどから 120 億円の支出超過となりましたが、留保資金により補てんします。
- 資金残高は、両会計併せて 7 億円増加し 538 億円となりました。

(1) 収益的収支決算額(土地分譲等に係る決算額)

(単位:百万円)

区 分	25 年度			24 年度 B	C=A-B	C/B(%)
	整理会計 ①	造成会計 ②	合計 A (①+②)			
収 入 ①	19,265	8,215	27,480	32,198	△4,718	△14.7
土地分譲収入	12,661	7,229	19,890	16,568	3,322	20.1
過年度損益修正益	315	-	315	7,969	△7,654	△96.0
支 出 ②	30,332	12,368	42,700	30,341	12,359	40.7
土地売却原価	19,308	10,138	29,446	15,515	13,931	89.8
調整額※1 ③	-	30	30	25	5	20.0
収支差 ①-②+③	△11,067	△4,123	△15,190	1,882	△17,072	

収益的収入は、幕張地区や検見川地区、千葉ニュータウンなどで土地の売却が進んだものの、過去に分譲した土地原価の修正等のための過年度損益修正益が 77 億円の減となったことなどから、前年度より 47 億円減の 275 億円となりました。

一方、収益的支出は、中止した袖ヶ浦椎の森工業団地の売却等により土地売却原価が前年度より 139 億円増加したことなどから、前年度より 124 億円増の 427 億円となりました。

※1 調整額:資本的収支分の消費税を調整したものです。

(2) 資本的収支決算額 (基盤整備に係る決算額)

(単位: 百万円)

区 分	25 年度			24 年度 B	C=A-B	C/B(%)
	整理会計 ①	造成会計 ②	合計 A (①+②)			
収入 ①	738	763	1,501	3,448	△1,947	△56.5
他 会 計 貸付金返還金	700	-	700	2,768	△2,068	△74.7
支出 ②	4,501	8,961	13,462	18,387	△4,925	△26.8
工 事 費	※1 4,501	914	5,415	4,187	1,228	29.3
公 債 費	-	5,252	5,252	9,730	△4,478	△46.0
収支差 ①-②	△3,763	△8,198	△11,961	△14,939	2,978	

資本的収入は、工業用水道事業会計からの貸付金の返済が 20 億円減少したことなどから、前年度より 19 億円減の 15 億円となりました。

一方、資本的支出は、工事費が 12 億円増加したものの、企業債の償還額が 45 億円減少したことなどから、前年度より 49 億円減の 135 億円となりました。

なお、120 億円の支出超過については、過去の利益を留保している減債積立金と財政調整積立金で補てんします。

※1 整理会計の工事費：24 年度土地造成整備事業会計からの繰越事業

(3) 資金残高

(単位: 億円)

	平成 25 年度 A	平成 25 年度期首 B	C=A-B
整理会計	159	59	100
造成会計	379	472	△93
合 計	538	531	7

(4) 損益計算書 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

【整理会計】

費 用		収 益	
営業費用	25,025	営業収益	17,076
営業外費用	305	営業外収益	1,493
特別損失	4,990	特別利益	684
当期純利益	△11,067		
合 計	19,253	合 計	19,253

【造成会計】

費 用		収 益	
営業費用	11,473	営業収益	8,088
営業外費用	70	営業外収益	126
特別損失	794	特別利益	-
当期純利益	△4,123		
合 計	8,214	合 計	8,214

(5) 貸借対照表 (平成26年3月31日)

(単位: 百万円)

【整理会計】

資 産		負債及び資本	
固定資産	168,593	固定負債	8,868
完成資産	92,131	流動負債	2,541
未成事業資産	24,154	負債計	11,409
流動資産	16,100	資本金	190,358
		剰余金	99,211
		資本計	289,569
合 計	300,978	合 計	300,978

【造成会計】

資 産		負債及び資本	
固定資産	50,949	固定負債	4,596
完成資産	8,098	流動負債	2,442
未成事業資産	54,510	負債計	7,038
流動資産	43,185	資本金	37,300
		剰余金	112,404
		資本計	149,704
合 計	156,742	合 計	156,742

(参考)

(1) 土地分譲収入の状況

(単位: 百万円)

区 分		平成25年度	平成24年度	平成23年度
合 計		19,890	16,568	12,093
内 訳	検見川	7,194	412	-
	千葉北部	7,023	4,465	2,156
	幕張A	1,819	1,797	1,797
	幕張C	1,098	5,903	740
	浦安	792	-	-
	京葉港	374	118	180
	木更津南部	315	108	199
	千葉港中央	218	871	1,256
	松崎	191	888	390
	浦安2期	72	1,094	98
	富津	-	497	962
	東葛飾北部流山	-	-	2,328
	関宿	-	-	893
	その他	794	415	1,094

(2) 企業債残高の推移【造成会計】

(単位: 億円)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
残 高	1,083	891	707	565	491	388	208	114	64

2 工業用水道事業会計

- 収益的収支は、給水料金収入等は 129 億円と前年度並みであったものの、負担金収入が減少したため収入額は 6 億円減少しましたが、支出額も 2 億円減少したことから 24 億円の黒字となりました。
- 資本的収支は、老朽化した施設の更新や耐震化を推進したほか、他会計借入金の返還をしたことなどから 74 億円の支出超過となりましたが、留保資金により補てんします。
- 資金残高は、6 億円減少し 156 億円となりました。

(1) 収益的収支決算額（給水に係る決算額） (単位：百万円)

区 分	平成 25 年度 A	平成 24 年度 B	C=A-B	C/B (%)
収 入 ①	13,254	13,859	△605	△4.4
給水料金収入等※1	12,901	12,891	10	0.1
負担金 <small>(経営負担金を除く)</small>	116	544	△428	△78.7
支 出 ②	10,850	11,105	△255	△2.3
浄配水費等	5,329	5,509	△180	△3.3
支払利息	652	788	△136	△17.3
調整額※2 ③	△41	△109	68	△62.4
収支差 ①-②+③	2,363	2,645	△282	

収益的収入は、未利用配水管撤去工事に伴う負担金収入 5 億円が皆減したことなどから、前年度より 6 億円減の 133 億円となりました。

一方、収益的支出は、企業債残高の減少により支払利息が 1 億円減少したことなどから、前年度より 2 億円減の 109 億円となりました。

※1 給水料金収入等：給水料金収入に経営負担金を加えたものです。

※2 調整額：資本的収支分の消費税を調整したものです。

(2) 資本的収支決算額（施設設備に係る決算額） (単位：百万円)

区 分	平成 25 年度 A	平成 24 年度 B	C=A-B	C/B (%)
収 入 ①	2,274	2,616	△342	△13.1
企業債	1,364	1,760	△396	△22.5
支 出 ②	9,673	11,426	△1,753	△15.3
工事費等	618	1,452	△834	△57.4
他会計借入金返還金	2,550	3,618	△1,068	△29.5
収支差 ①-②	△7,399	△8,810	1,411	

資本的収入は、企業債の借入れが 4 億円減少したことなどから、前年度より 3 億円減の 23 億円となりました。

一方、資本的支出は、工事費等が 8 億円減少したほか、他会計借入金返還金が 11 億円減少したことなどから、前年度より 17 億円減の 97 億円となりました。

74 億円の支出超過については、過去の利益を留保している減債積立金や損益勘定留保資金等で補てんします。

(3) 資金残高 (単位：億円)

	平成 25 年度 A	平成 24 年度 B	C=A-B
資金残高	156	162	△6

(4) 損益計算書 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日) (単位：百万円)

費 用		収 益	
営業費用	9,545	営業収益	10,525
営業外費用	655	営業外収益	1,997
特別損失	71	特別利益	112
当期純利益	2,363		
合 計	12,634	合 計	12,634

(5) 貸借対照表 (平成 26 年 3 月 31 日) (単位：百万円)

資 産		負債及び資本	
固定資産	227,626	固定負債	6,615
流動資産	16,799	流動負債	1,208
		負債計	7,823
		資本金	134,173
		剰余金	102,429
		資本計	236,602
合 計	244,425	合 計	244,425

(参考)

(1) 企業債残高の推移 (単位：億円)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
残 高	500	488	477	472	457	442	429	407	373

(2) 他会計借入金残高の推移 (単位：億円)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
他会計借入金残高	507	394	391	388	384	381	372	335	310